

天理市

天理駅周辺地区まちづくり基本計画

令和2年1月

1 天理駅周辺地区まちづくり基本計画策定の背景

(1) 計画策定の背景・目的

天理駅周辺地区は、本市の市街地中心部に位置し、天理駅はJR桜井線と近鉄天理線が接し、乗客数1万人弱の交通結節点となっている。しかし、本市の人口減少に伴い、天理駅の乗客数は年々減少しており、天理駅前広場はイベント時以外、閑散としていた。

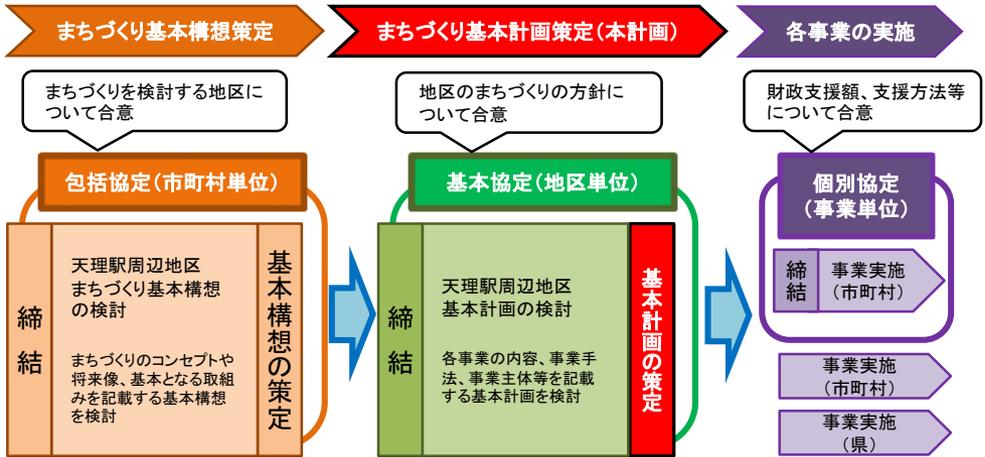
こうした状況を踏まえ、天理駅周辺地区を日常から人が集う空間として、本通りに繋がる動線を賑わせるとともに、市外からの訪問者を迎える玄関口として、天理の魅力・豊かさを発信する場に生まれ変わらせることを目指し、平成26年10月に県内39市町村の第1号として「奈良県と天理市とのまちづくりに関する包括協定」を締結し、県・市が連携・協力して天理駅周辺地区を核とした賑わいの創出に取り組むことにより、当該地区の持続的発展及び活性化を図ることを目的として平成28年3月に「天理駅周辺地区まちづくり基本構想」を策定した。

本計画は、この「天理駅周辺地区まちづくり基本構想」の実現に向け、地域住民・民間事業者・行政等の幅広い関係者が相互に連携しながら、協働で本地区において効率的・計画的に事業の展開を図ることを目的として策定するものである。

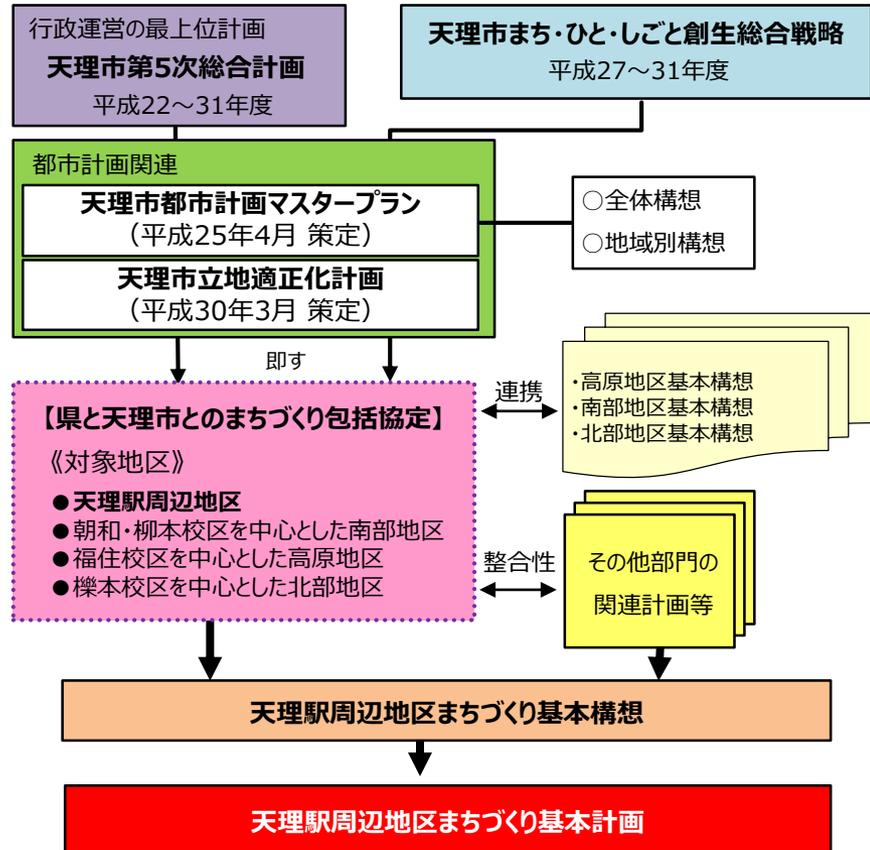
■ 奈良県との協定に関する経緯

平成26年10月	奈良県と天理市とのまちづくりに関する包括協定締結
平成28年 3月	天理駅周辺地区まちづくり基本構想 策定
平成28年 3月	天理駅周辺地区のまちづくりに関する基本協定締結

■ 連携協定の一般的な流れ

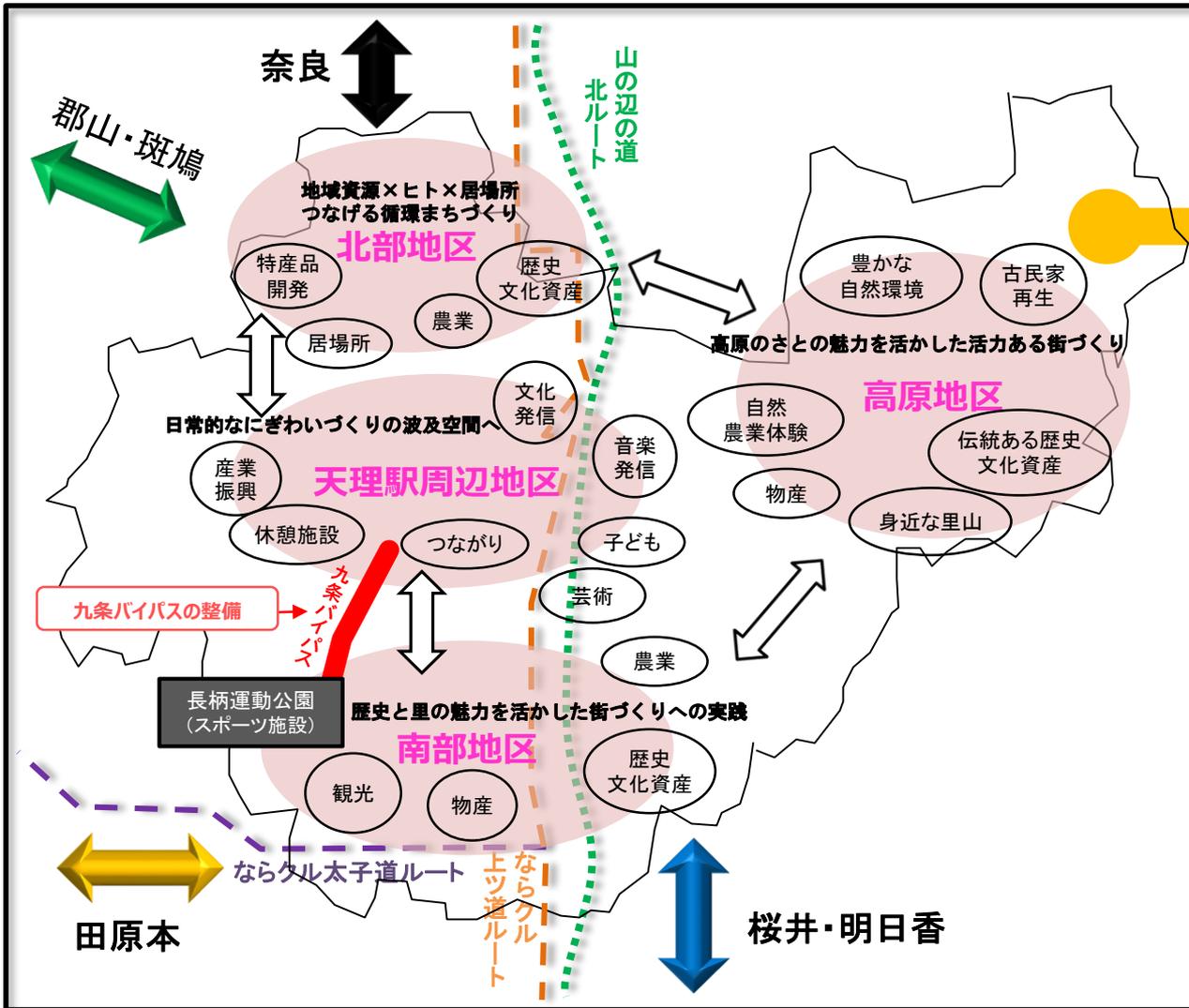


■ 基本計画の位置づけ

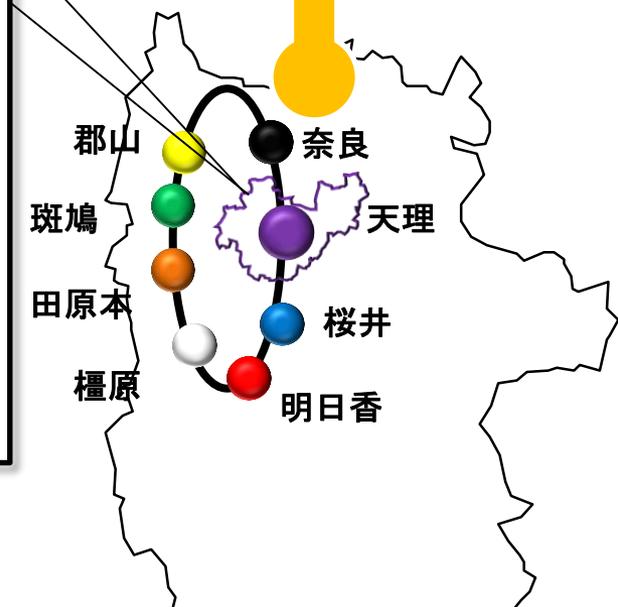


(2) 天理市が目指すまちづくりの方向性

天理市×周辺市町村 にぎわい循環 MAP



奈良県内
をつなぐ
にぎわい循環
の拠点
となる
街づくり



(3) 天理駅前広場「コファン」について

天理駅周辺地区においては、平成29年4月に天理駅前広場「コファン」がオープンしました。

【天理駅前広場「コファン」の役割】

● 継続的な賑わいを創出する複合交流拠点施設

天理駅前広場「コファン」は、イベントの開催や観光・ものづくり、農業情報の発信、近隣住民の憩いの場として活用されることで、市の玄関口における継続的な賑わいを創出し、周辺地域への賑わいの波及・循環を図っています。

● つながりの場

天理駅前広場「コファン」は、多様な主体のつながりの場です。また、「支え合いのまちづくり」の実現を目指し、地域の課題解決のモデル事業を天理駅前広場「コファン」で実施することで、共通課題の解決手法を共有するとともに、様々な施策・取組を市内各地域へ波及させています。



【施設概要】

■ 天理駅前広場「コファン」の整備の経緯



整備	H26	H27	H28	H29	H30	
整備	●H26.5 空間デザイン等基本計画作成プロポーザル	●H26.7 市民フォーラム開催	●H27.3 空間デザイン最終案完成	●H28.3 設計完成	●H28.4 着工	●H29.3 竣工
	●H26.12-H27.3 エリアマネジメント勉強会開催	●H27.4 天理駅前広場賑わいづくり作業部会発足	●H28.4 庁内プロジェクトチーム発足	●H29.4-6 オープニング月間(モデルイベント開催)	●H29.7 イベント自走開始	
運営体制	●H26.8 食と旅の拠点運営事業者プロポーザル	●H28.4 総合政策課コファン準備室設置	●H28.9 天理駅前広場条例改正	●H28.11 指定管理者プロポーザル	●H29.4 運営開始	

2 天理駅周辺地区のまちづくりのコンセプト

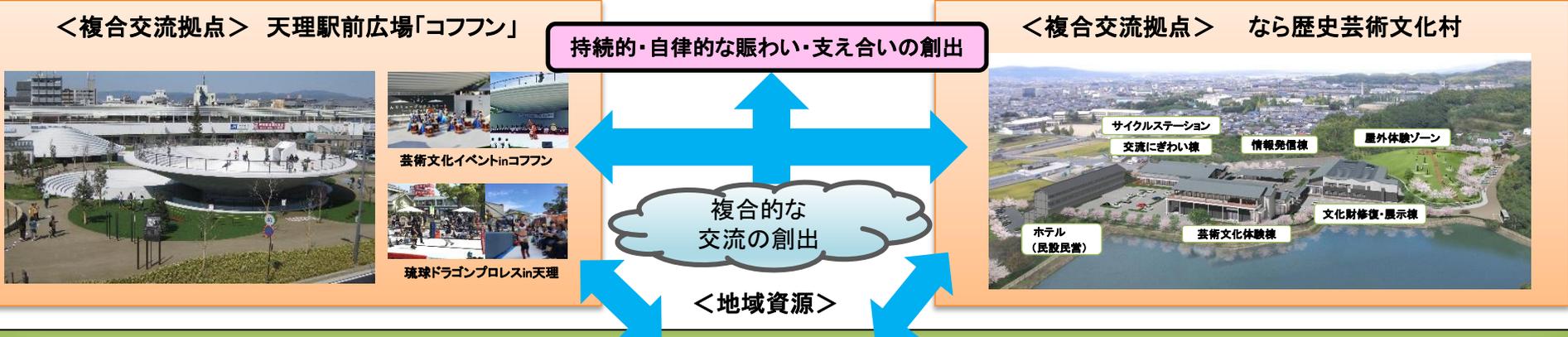
天理駅周辺地区では、平成29年4月に天理駅前広場「コフン」等が整備され、市内外から多くの方々が訪れるとともに、天理駅前広場「コフン」を中心に地域の方々が主催のイベントが数多く開催され、新たな賑わい・支え合いが創出されている。また、これらのイベント等により、芸術、スポーツや福祉などの多種多様な分野の方々の交流が生まれ、それが新たなイベント等の賑わい・支え合いを創出するといった好循環が形成されつつある。今後、この賑わい・支え合いの好循環の流れを継続的なものとし、地区全体に波及させることが重要である。

また、天理駅周辺地区では、奈良県の強みである歴史文化資源を活用し、文化・芸術振興の取り組みに加え、観光・産業振興、まちの賑わいづくりなど政策間連携を図ることで地域の魅力を高め、地域活性化を実現するため、先駆的な拠点として、「なら歴史芸術文化村」の整備が進められている。「なら歴史芸術文化村」では、考古分野と美術工芸分野の文化財修復や展示を行う施設、伝統工芸施設、農村交流施設、道の駅、民設民営の宿泊施設等が整備され、芸術家、工芸家、文化財修理技術者、農産物等生産者、地域の方々、観光客など多様な分野の複合的な交流を生み出すことにより、新たな芸術・文化や賑わいを創出することとしている。

これまで天理駅前広場「コフン」の整備等により賑わい・支え合いの好循環の流れが形成されつつあるが、天理駅前広場「コフン」の整備等により創出される複合的な交流と「なら歴史芸術文化村」により新たに創出される複合的な交流を連携させ、さらなる複合的な交流を創出することで、天理駅周辺の賑わい・支え合いの好循環の流れを加速・拡大させることが必要である。また、グローバル化が進む時代において地域が生き抜くためには、地域が独自性を持った発展を遂げる必要があるため、そのためには、地域が有する独自の地勢、歴史を踏まえ、地域の独自資源を地域振興の元手とすることで、地域で人、物、金、情報が活発に流動させる「クラフトエコノミー」を目指す必要がある。天理駅周辺地区のまちづくりにおいても、クラフトエコノミーの実現を目指すべく、2つの複合交流拠点により創出する賑わい・支え合いの好循環の流れを、さらに、これらの拠点の周辺にある食、泊、アクティビティ、文化、農、自然などの地域独自の資源（商店街、社寺、古墳、山の辺の道など）と結びつけ、地域内の経済活動の活発化の視点で取り組むことが重要である。

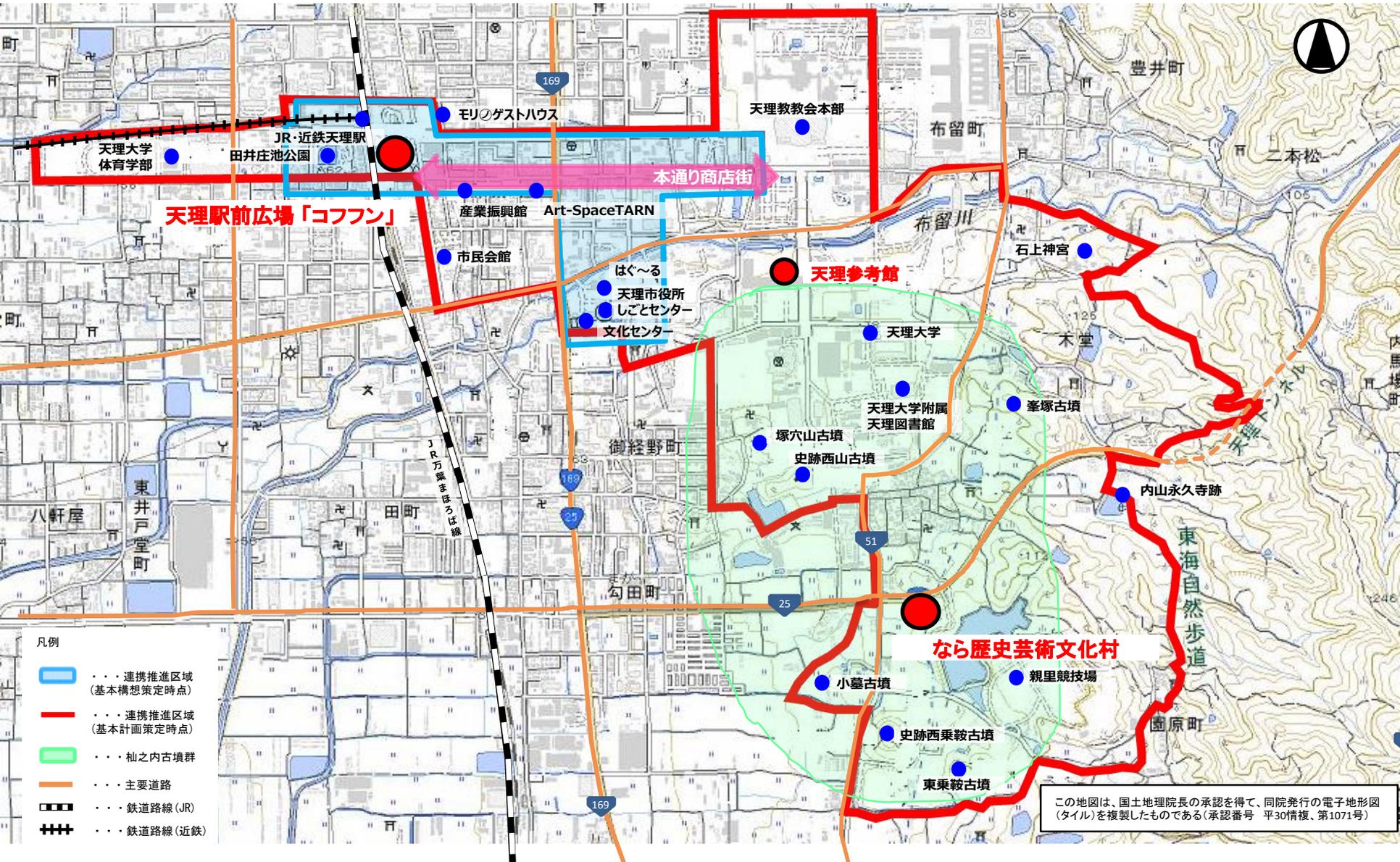
以上を踏まえ、天理駅周辺地区のまちづくりのコンセプトは「天理駅前広場「コフン」と「なら歴史芸術文化村」を中心に複合的な交流を創出することにより、持続的で自立的な賑わい・支え合いを創出する」とする。

<コンセプト> 天理駅前広場「コフン」と「なら歴史芸術文化村」を中心に複合的な交流を創出することにより、持続的で自立的な賑わい・支え合いを創出する



3 基本計画で定める対象地区

対象地区



4 基本計画で定めるまちづくりの取組

まちづくりのコンセプトである『天理駅前広場「コフン」と「なら歴史芸術文化村」を中心に複合的な交流を創出することにより、持続的で自立的な賑わい・支え合いを創出する』を実現するため、まちづくり基本構想で定めた基本方針を基に、まちづくり基本計画の計画期間（H30～R4年度の5年間）において取り組む重点施策について次のとおり定める。

まちづくりのコンセプト

天理駅前広場「コフン」と「なら歴史芸術文化村」を中心に複合的な交流を創出することにより、持続的で自立的な賑わい・支え合いを創出する

地区の課題

- **駅前広場が活きていない**
 - ・駅前広場全体には魅力がないため、イベント時を除いて人が「通過」するだけの場所となっている。
 - ・鉄道駅を利用する来街者の減少によりかつては「効率的な広大でフラットな空間」であったが現状は「閑散としただっぴろい空間」へと変質している。
- **天理本通り商店街の賑わいが不足している**
 - ・商店街の空き店舗の増加により商業地域である当該地区における地域経済の縮小がみられる。
 - ・駅前広場との連携も少なく、集客力や認知度が低い。
- **観光や農・ものづくり資源のPR機能、案内サインが不足している**
 - ・市の玄関口にも関わらず、観光情報発信機能は弱く、地域の農やものづくりの発信機能は一過性のイベントにとどまっている。また人の誘導機能が欠けている。
 - ・周辺地区においても、新たに人を呼び込む取組勢がなっていない。
- **各エリアの魅力創出、エリア間のつながりがない**
 - ・駅前周辺地区内での魅力の創出、発信が少ない。
 - ・西の公園、天理駅前広場、天理本通り（アーケード商店街）を結ぶ導線が、道路およびJRによって分断されているため、人の往来がしにくい。
- **地域間、拠点間のスムーズな回遊・連携ができない**
 - ・様々な交通機能の結節点ではあるが、住民や観光客にとってまちづくりの拠点間を巡るネットワークが不十分である。
- **雇用機能が少ない**
 - ・市内の中心地であるにも関わらず、雇用機能が少なく、若者や働き盛り層の市外への流出が多い。
- **子供を産み、育てる環境、支援が充実していない**
 - ・子育て窓口が点在している等、出産・子育て面で充実した支援がなく、出生率および子供を産む女性の減少による出生数の低下を招いている。
- **高齢化を見据えた駅前環境に乏しい**
 - ・今後ますます進む高齢化を見据えて、高齢者が安心して暮らしやすい環境が必要。
 - ・天理市の中心地である駅前周辺に市民の健康づくりのための拠点が無い。

基本構想

基本方針

- * **天理駅周辺における魅力づくり**
 - > 産業・文化発信、周遊観光など「地域のにぎわい拠点」としての機能強化。
 - > 県内一長いアーケード商店街の活性化。
 - > 市民参加の場として道路空間の活用。
 - > 集いの場、憩いの場としての公園の活用。
- * **天理のもつ観光・農・ものづくり資源の情報発信**
 - > 町の魅力をPRする多彩なイベントによる観光・農・ものづくりの情報発信の強化。
 - > 地域の特色を活かした観光・農・ものづくり資源のブランディングによる物産品等の情報発信の強化。
- * **垣根を越えた結び付き・連携の強化**
 - > 市の玄関口としてまちづくりの拠点間を結ぶ交通ネットワークの形成。
 - > コミュニティバスやサイクリング等の移動手段の多様化。
 - > 大学や関係団体、地域住民などと連携した取組の充実。
 - > エリア間の回遊性を向上。
- * **雇用の場の確保により「天理で働きたい人」の創出**
 - > 「テレワーク」等「時間」と「場所」にとらわれない新しい働き方の導入。
 - > 多様な就労環境・人材マッチングなどによる雇用促進。
- * **安心して出産・子育てができる環境づくり**
 - > 出産や子育てにかかる不安や負担を軽減できる支援の充実。
- * **高齢者が安心して、健康に暮らせる環境づくり**
 - > 高齢者が利用できる健康づくりの場の創出。
 - > 高齢者に優しい環境づくり。
 - > 地域の健康づくり拠点へのアクセス強化による、高齢者が健康づくり・介護予防に取り組める環境創出。

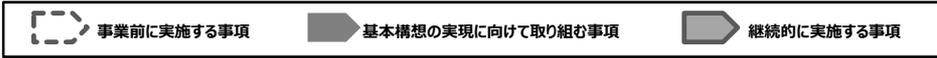
基本計画

基本計画における取り組みの方向性

- **継続的な賑わい・魅力の創出**
 - ・先行して整備を行った天理駅前広場「コフン」を市内の賑わいの中心拠点として、天理駅周辺地区において継続的な賑わい・魅力を創出し、地区内外への効果の波及・好循環を生み出す。
 - ・商店街の活性化に向けた取組を推進する。
 - ・官民連携による取り組みを推進し、地区内への民間投資の誘導を図る。
 - ・本市がもつ様々な地域資源を活かした取組を推進するとともに、観光・農・ものづくり等の情報発信の強化を図る。
 - ・豊かな自然や歴史の中で幅広いポテンシャルを秘める天理のめぐみを可視化し、天理ブランドのイメージの普及を行い、天理で暮らすことの付加価値を高める。
 - ・空き家の積極的な利活用を図る。
 - ・地域公共交通網の再構築を図り、地区内の回遊促進と円滑な移動手段の確保に向けた取組を推進する。
- **なら歴史芸術文化村を活かした取り組みの推進**
 - ・賑わい拠点である天理駅前広場「コフン」と芸術文化拠点である「なら歴史芸術文化村」の、2つの拠点間の連携を強化する。
 - ・天理ブランドの構築とも連携し、市内各所への周遊を促すことで、「芸術文化に出会えるまち」というイメージ形成を目指す。
- **つながりと支え合いのまちづくり**
 - ・働き盛りや子育て世代及び高齢者など、多世代が住み慣れた地域で安心して暮らし続けたいと思えるまちづくりに向けた取組を推進する。
 - ・地域に密着し、共通課題である子ども、高齢者を対象として、支え合いで地域課題を解決する施策をパッケージで推進する。

5 天理駅周辺地区 事業一覧

まちづくり基本構想の実現に向けて取り組む事業について、5年以内に完了または着手する具体的な取組に加え、それ以降の将来的な取組も含めて以下に示す。



■ 継続的な賑わい・魅力の創出

事業名		ハード ソフト	事業 主体	事業内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5~	事業手法
賑わい交流拠点の整備	1 天理駅前広場「コフパン」整備事業	ハード	市	天理駅前広場に公園スペースを創出し、子育て世代から高齢者まで多世代の市民が集い、交流し、市外からの来訪者に本市の魅力を発信することができる施設を整備する。【H29.3整備完了】	H29.4.1 供用開始 指定管理者による継続的な維持管理を実施						
	2 天理駅前広場「コフパン」賑わいづくり事業	ソフト	各種団体 事業者 市	天理駅前広場「コフパン」において、賑わいを創出するための市民や民間主体のイベント等の開催・運営を支援し、市の玄関口における継続的な賑わいの創出を図る。また、天理参考館やなら歴史芸術文化村と連携して駅前出前博物館などを開催し、古代の魅力を発信する。	賑わいを創出するイベントの企画・運営の支援						
継続的な賑わいの創出	3 コフパンマルシェ事業	ソフト	各種団体 市	定期的にマルシェを開催し、天理市及び大和まほろば広域定住自立圏の構成町村を中心とした奈良県の農作物、食、生産品を販売することで、賑わいを醸成するとともに、地元産業・特産品の魅力を再認識し市内外への周知を図る。	コフパンマルシェの開催						●地方創生推進交付金 (~R2)
	4 本通り賑わい創出事業	ソフト	各種団体 市	なら歴史芸術文化村の開村を見据え、天理駅前広場「コフパン」と本通り商店街、そしてなら歴史芸術文化村へつなぐ新たな人の流れを生み出すため、芸術文化イベントをはじめとする各種イベントを支援することにより、駅前から商店街につながる賑わいを創出する。	賑わい創出イベントの支援						●地方創生推進交付金 (~R2)
	5 地域資源を活用した民間投資促進事業	ソフト	事業者 市	天理駅前広場「コフパン」～天理本通り商店街～なら歴史芸術文化村～山の辺の道のエリアを中心に、古民家や空き店舗等を活用し、レストラン、カフェ、伝統工芸のアンテナショップ及び民泊などの民間施設等を誘致することで、エリア内における民間投資の促進を図る。	事業者とのマッチングの実施						
周遊観光の促進	6 周遊観光促進事業（観光コンシェルジュ）	ソフト	事業者 各種団体 市	天理駅前広場「コフパン」内の観光インフォメーションに観光コンシェルジュを配置し、観光情報発信の充実、ノルディックボールの無料レンタルを行い、駅前広場を天理市の観光拠点として強化する。	観光コンシェルジュ業務の実施						●地方創生推進交付金 (~R2)
	7 広域周遊観光促進事業（旅行商品の造成）	ソフト	事業者 市	雅楽体験企画やゲストハウスなど民間による旅行関係事業を促進し、DMOの設立も視野に入れ、官民連携による民間投資を促進し、滞在型観光の増加を図る。	検討・調整	実施					
円滑な移動の確保	8 公共交通網再編事業	ソフト	県 市	公共交通網の再編によるエリア内及びエリア間の移動手段の確保を行う。また、その中で、徒歩による周遊観光とのバランスを図りながら、なら歴史芸術文化村への交通アクセスについて検討を進める。	地域公共交通網形成計画の策定	エリア内における地域公共交通網形成計画に基づく事業・取組の実施					●地域公共交通確保維持改善事業補助金
	9 バリアフリー化の推進事業	ソフト	市	中心市街地においては、バリアフリーやユニバーサルデザインを十分に考慮し、快適に生活できる環境づくりを推進する。また、天理駅周辺からなら歴史芸術文化村までの動線を考慮にいたれ、「天理市バリアフリー基本構想」について検討する。	天理市バリアフリーマスタープラン基本構想の必要性の検討	天理市バリアフリーマスタープランの策定	天理市バリアフリー基本構想の策定	特定事業計画の策定		●地域公共交通バリアフリー化調査事業 ●バリアフリー環境整備促進事業	
	10 九条バイパス整備事業	ハード	県	バイパス整備により、健康づくり拠点である長柄運動公園と天理駅のつながりの強化を図る。	設計・用地買収・整備工事						●社会資本整備総合交付金

■ 継続的な賑わい・魅力の創出

事業名		ハード ソフト	事業 主体	事業内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5~	事業手法
地域ブランドの向上	11	ソフト	市	映像コンテンツやWebサイトにより、天理ブランド「めぐみめぐる てんり」の拡散・イメージ向上を図る。また、地域ブランド商品の販路拡大を行う。	販路拡大の実施	企画・検討	ブランディング事業の拡大(認定事業等)				●地方創生推進交付金 (~R2)
	12	ソフト	事業者 市	天理市内を中心とした特産品及び事業者の情報や魅力を天理駅前広場「コフン」内から発信するため、指定管理者が運営する観光物産センター(コフンショップ)において、商品の販売及び展示を行う。			コフンショップの運営				
魅力ある緑地空間の確保	13	ソフト	市	街路樹・植栽による魅力ある緑地空間の確保など、本市の玄関口並びに都市の骨格にふさわしい街路空間の形成に努める。			街路樹・植栽の維持・充実				
スポーツのまち天理 促進事業	14	ソフト	各種団体 市	天理ゆかりのトップアスリート(大野将平選手、立川理道選手)を中心に、地域貢献による地域スポーツ促進事業として講演会、スポーツ教室、交流会等を実施する。	企画・検討	試行	講演会、スポーツ教室等の実施				
	15	ソフト	県 市	オリンピック・パラリンピック東京2020大会などのスポーツ大会に向け、海外のナショナルチームのキャンプ地誘致を行い、市民との交流事業を実施することで、スポーツへの関心を深め、国際交流の発展につなげる。		交流事業の実施	交流事業の継続				
移住・定住の促進	16	ソフト	市	天理駅周辺地区においては、山の辺の道周辺及び天理駅前市街地(旧街道)を中心に、空き家の利活用を推進するため、空家バンクの運営やイベントによるPR等を実施する。			空き家の利活用				
						モデルケースの創出	空き家の利活用				

なら歴史芸術文化村オープン
(2021年度中)

■なら歴史芸術文化村を活かした取り組みの推進

事業名		ハードソフト	事業主体	事業内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5~	事業手法	
芸術文化拠点の整備・運営	1	なら歴史芸術文化村整備事業	ハード 県	歴史、文化、伝統を有する奈良県が、その強みである文化資源の最大の活用を目指し、その拠点施設としてなら歴史芸術文化村を整備する。	整備					運営	●地方創生拠点整備交付金 (~R1)	
	文化財を活用した地域交流の推進	2	文化財保存活用事業	ソフト 市	なら歴史芸術文化村オープンに向けて、観光・くつろぎの拠点として仙之内古墳群の保存と活用に取り組み、文化財の利活用を推進する。	史跡トイレの整備	活用事業の検討	コンテンツ作成、文化財のPR、イベントの開催等			史跡の環境維持・管理	
		3	歴史文化体験イベント事業	ソフト 市	天理参考館の学芸員や天理市ボランティアガイドと、なら歴史芸術文化村が連携して、仙之内古墳群や「山の辺の道」をはじめ、天理の見所や歴史文化を体験することができる体験型イベントを行う。	歴史文化体験イベント・ワークショップの実施						
		4	なら歴史芸術文化村文化財公開活用事業	ソフト 市	文化財の保存と活用の拠点として整備されるなら歴史芸術文化村において、考古遺物整理作業の公開・展示会・講演会等を幅広く展開する。	考古遺物整理作業の公開・展示会・講演会等の実施						
アーティスト・イン・レジデンス	5	アーティスト・イン・レジデンス事業	ソフト 県市	国内外の芸術家を公募または招聘し、施設のアトリエなどの創作環境を提供するとともに、その創作活動に対して支援を行う。また、芸術家の滞在中に市民交流、アウトリーチ、ワークショップ、作品発表会等を行う。	企画検討	試行	アーティスト・イン・レジデンス事業の企画・開催 (なら歴史芸術文化村オープン後、県との連携調整)			●地方創生推進交付金 (~R2)		
	6	ワークショップ事業	ソフト 市	芸術通り拠点(ホワイトキューブ)にて、様々なジャンルのアーティスト等によるワークショップ事業を開催する。体験型イベントとしてホワイトキューブをメイン会場に展開する。また、ワークショップ等に参加された方が、なら歴史芸術文化村が行う様々な取組等をサポートする人材となっていたらよい取組を推進する。	ホワイトキューブの整備	試行	ワークショップ事業の企画・開催 なら歴史芸術文化村サポーターとして活動			●地方創生推進交付金 (~R2)		
なら歴史芸術文化村と連動した地域芸術文化イベントの実施	7	芸術文化イベント事業	ソフト 各種団体 事業者 市	天理駅前広場「コフン」からなら歴史芸術文化村へ至るまでの本通り商店街で、各店舗の空きスペースを活用し、店舗の個性を活かしたアートなイベントを展開すると共に、なら歴史芸術文化村までのルートにおいてアートを体感できる街歩きイベントを実施することで、なら歴史芸術文化村との相乗効果により地域の賑わいを醸成する。	企画・検討					アート作品を展示した周遊型イベントの実施 県と連動した芸術文化イベント等の検討・実施 芸術文化発信イベントの実施	●地方創生推進交付金 (~R2)	
地区内における周遊の促進	8	周遊環境の整備・向上事業	ハード 事業者 市	なら歴史芸術文化村を拠点として、天理駅前広場「コフン」~天理本通り商店街~なら歴史芸術文化村~山の辺の道のエリアでの徒歩・自転車による周遊を促進するための環境を整備するとともに、景観等の向上について検討を進める。 (例) 誘導サイン整備、シェアサイクル導入、景観に配慮した無電柱化の検討 など	検討調整					周遊環境の整備 継続した取組 なら歴史芸術文化村周辺における景観向上の取組の検討・推進	●地方創生推進交付金 (~R2)	
	9	周遊促進のための情報発信事業	ソフト 市	なら歴史芸術文化村を拠点として、天理駅前広場「コフン」~天理本通り商店街~なら歴史芸術文化村~山の辺の道のエリアでの徒歩・自転車による周遊を促進するための情報発信を行う。また、なら歴史芸術文化村への来訪者・滞在者をメインターゲットに、文化財、芸術・工芸、農、食等の地域資源を活用した体験型の事業を実施する。	企画・検討	ルートマップの作成		街歩きイベント、おもてなし事業の実施			●地方創生推進交付金 (~R2)	

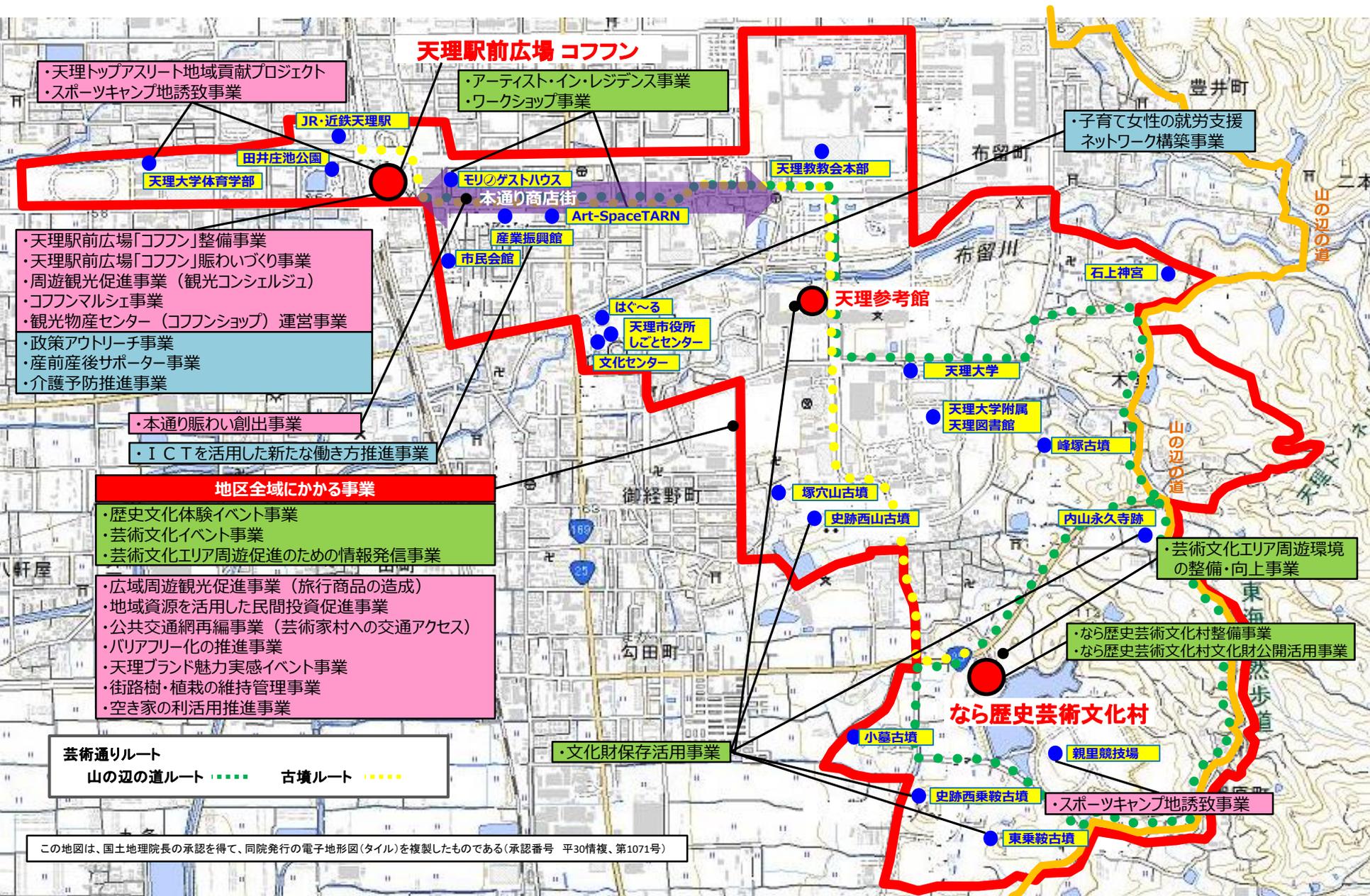
■つながりと支え合いのまちづくり

事業名		ハード ソフト	事業 主体	事業内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5～	事業手法
多様な主体の絆づくり	1	政策アウトリーチ事業	各種団体 市	天理駅前広場「コフファン」に来場された方等に対して、市が実施している各種施策を広く周知し、無関心層を市の施策でつなぐことで効果的な支援や各種サービスの提供を行うため、各種関係団体との連携を強化する。	アウトリーチ事業の実施						●地方創生推進交付金 (～R2)
	2	ICTを活用した新たな働き方推進事業	ソフト 市	テレワークを活用した就業のマッチングを行うとともに、出産や介護等によりキャリアを中断せずに働き続けられる環境を構築する。	マッチング事業の実施		テレワークの推進				●地方創生推進交付金 (～R2)
産後・子育て支援の充実	3	産前産後サポーター事業	ソフト 市	産後4ヶ月迄の母子を対象に、認定資格を持ったドゥーラがサロンを開催し、育児に関する悩みや不安を傾聴し、支援を行うことで、母の育児不安の軽減を行う。	ドゥーラによるサロンの開催						●母子保健医療対策総合 支援事業 (継続)
	4	子育て女性の就労支援ネットワーク構築事業	ソフト 市	子育て世代すこやか支援センター「はぐ～る」を、子育てに関する支援の地域拠点とし、市内の子育てネットワークを拡充できる場を用意することで、「天理市版ネボラ」の深化を図る。また、地域や子育て世代間でのつながりを持つよう各種講座・体験教室などを実施する。	切れ目のない子育て支援事業の実施			切れ目のない子育て支援事業の実施継続			
高齢者の健康を支えるシステムの充実	5	介護予防推進事業	ソフト 市	天理駅南団体会待合所等において、介護予防リーダーが高齢者の健康づくりのためのサロン活動を行う。また、認知症予防啓発イベントを実施する。	介護予防リーダーによるサロン活動の実施						●地域支援事業交付金 ●地域支援事業支援交付金 (継続)
					企画・検討	認知症予防啓発イベントの実施	必要に応じて実施を検討				

6 基本計画図

● ...天理駅周辺地区の主な地域資源

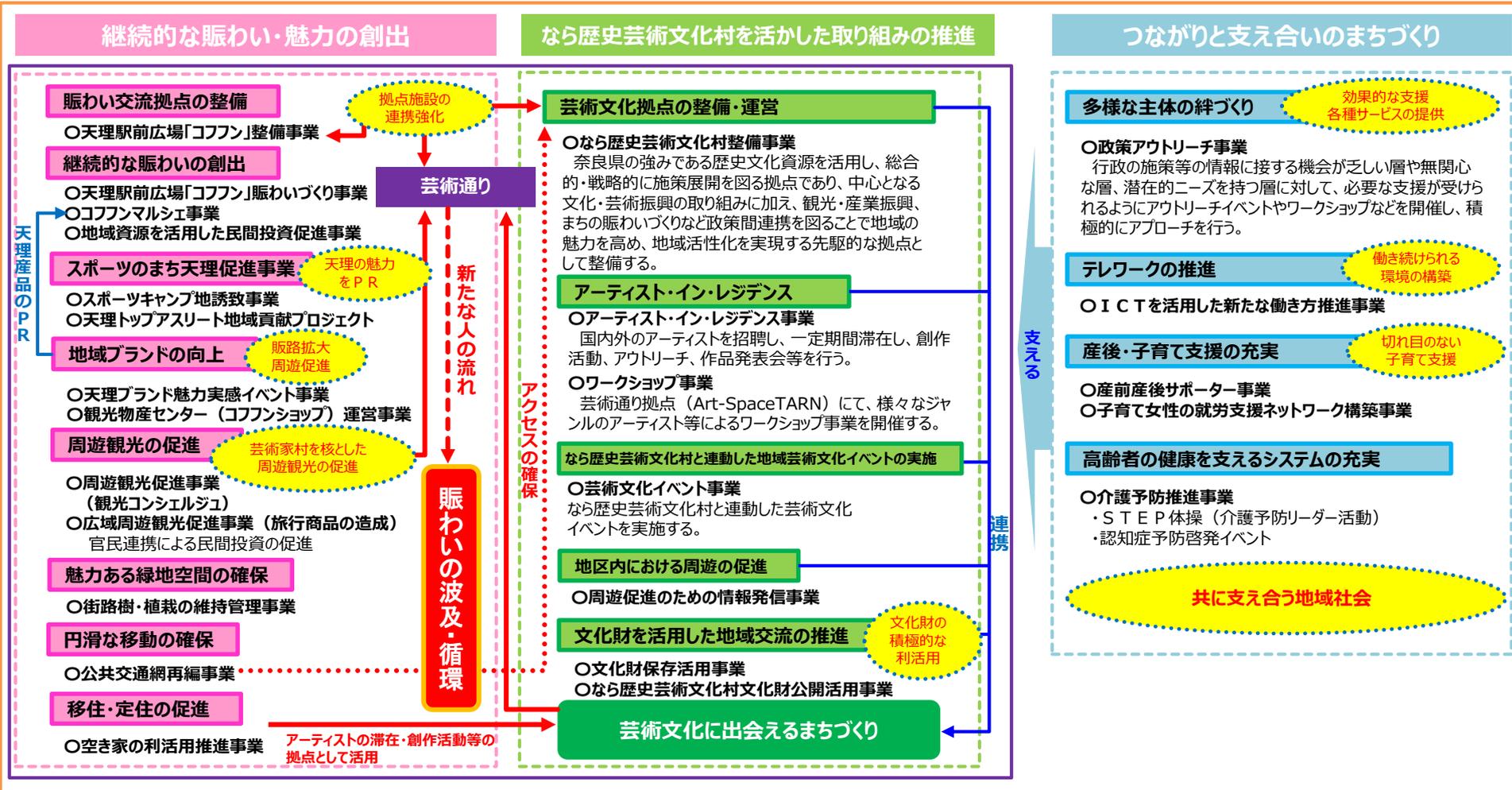
— ...山の辺の道



7 事業推進に向けた取り組み

(1) 天理駅周辺地区まちづくり基本計画 事業相関図

天理駅周辺地区のまちづくりのコンセプト「天理駅前広場「コファン」と「なら歴史芸術文化村」を中心に複合的な交流を創出することにより、持続的で自立的な賑わい・支え合いを創出する」の実現に向け、本基本計画における3つの重点施策として整理した事業について、幅広い関係者や各種団体が相互に連携するとともに政策間の連携を重視した取組を戦略的に進めることで相乗効果をもたらし、当該地区内における賑わいと魅力の創造を図り、その効果を市内外へ波及・循環させる。



天理駅前広場「コファン」と「なら歴史芸術文化村」を中心に複合的な交流を創出することにより、持続的で自立的な賑わい・支え合いを創出する

(2) 天理駅周辺地区まちづくり基本計画運用のための組織体制

天理駅前広場「コフン」と「なら歴史芸術文化村」の二つの複合交流拠点を中心として複合的な交流を創出し、持続的・自律的な賑わい・支え合いを創出し、さらに地域資源と結びつけ地域内の経済活動を活発化させる「クラフトエコノミー」を実現するためには、多様な方々が寄り合って様々な活動を支えることが重要であり、地元の関係者や事業の実施主体となり得る団体を巻き込んだ展開が必要である。このため、複合交流拠点と地域資源を掛け合わせた地域活性化に取り組む連携組織「まちづくり推進協議会」を構築する。

天理駅周辺地区におけるまちづくり推進協議会

- ・まちづくりの核となる「複合交流拠点」整備後のまちづくりにおける「複合交流拠点」の効果を最大限に発揮するために知恵を絞る組織。「複合交流拠点」を活用した賑わい（イベント等）をどのようにつくっていくか、どのように継続的に発展させていくかを考える組織。
- ・メンバーは、まちづくりの観点に加え、発展させていく「複合交流拠点」に係わる多様な主体からなるメンバー。
- ・「まちづくり推進協議会」の会長は天理市長。「複合交流拠点」を活用した賑わいづくり（イベント等）を考え、継続して実施するとともに、「複合交流拠点」でできた賑わいを、周辺地区にも波及させていく。
- ・なお、「なら歴史芸術文化村」の整備、指定管理者の選定等が行われるまでの事業の推進体制については、天理駅周辺地区の活性化プロジェクトを推進する組織として設置されている「天理駅周辺地区街づくり協議会」において計画の進捗管理を行う。

「なら歴史芸術文化村」開村前

天理駅周辺地区街づくり協議会

まちづくり連携協定におけるまちづくり基本構想・基本計画を策定する際に、地域住民の意見を反映させることを目的に設置。自分たちのまちを、どのようなまちにしたいかを考える組織。

委員

【駅周辺事業者】

天理市商工会
川原城商工連盟
三島商工連盟

天理市本通り商店街協同組合
天理市三島本通り商店街協同組合

【文化芸術関係者】

天理シテリオークストラ

【公共関係者】

天理教会本部
天理市区長連合会
川原城町
天理警察署
天理市行政改革推進委員会
天理市議会
奈良県
(マーケティング課、なら歴史芸術文化村整備推進室、地域デザイン推進課)
天理市

【交通事業者】

近畿日本鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社

支える

天理駅前広場コフン賑わいづくり委員会（まちづくりコミッション）

天理駅前広場の日常的な賑わいと居心地のよい空間を創造



「なら歴史芸術文化村」開村後

まちづくり推進協議会

会長（天理市長）

委員（案）

【事業者団体】

天理市商工会
川原城商工連盟
三島商工連盟
天理市本通り商店街協同組合
天理市三島本通り商店街協同組合

【公共関係者】

天理市議会
奈良県
天理市

【宗教関係者】

天理教
社寺

【なら歴史芸術文化村関係者】

副村長
ホテル関係者
指定管理者（農産物直売所運営 等）

【地元関係自治会】

【教育関係】

天理大学

【各種団体NPO】

【文化芸術関係者】

天理シテリオークストラ
アーティスト

※委員は検討中のため、変更となる可能性あり

8 基本計画の目標に対する事業効果（K P I）について

基本計画の目標に対する事業効果（K P I）の設定については、「天理市総合計画」、「天理市まち・ひと・しごと創生総合戦略」等関連計画で設定している事業効果（K P I）との整合性を図りながら、適切な評価指標及び目標値を設定する。

基本計画における取り組みの方向性	重要業績評価指標	基準値（調査時点）	目標値（達成年度）	備考
なら歴史芸術文化村を活用した取り組みの推進	なら歴史芸術文化村と連携した文化イベント開催数・集客数	— (H30年度)	12件・1,200人 (R4年度)	
継続的な賑わい・魅力の創出	天理駅前広場を活用したイベントの開催数、集客数	406件・30,385人 (H30年度)	540件・35,000人 (R4年度)	「天理市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の指標に基づく
	Art-Space TARNの来場者数	1,938人 (H30年度)	4,000人 (R4年度)	
つながりと支え合いのまちづくり	地域全体でお互いに支え合い助け合う機会や仕組みが充実していると思う市民の割合	32.9% (R1年度)	37.0% (R4年度)	「天理市総合計画」の指標に基づく